



親しみやすい 議会広報のあり方

新発田市議会

議会運営員会（仮称：広報小委員会）

2021年2月22日

広報刷新とその先へ



01.現状の広報活動

広報活動は「議会だより」がベースで詳細はHPが補完。本会議と予算・決算のコミュニティFM中継と報告会を開催。

02.議会報の現状

議決結果の報告&掲示が中心で堅苦しく殆どが文字。お世辞にも「手に取って見たい」とは思えない難解な内容。

03.広報活動の変化

紙ベースは引き続き基本であるが、web活用は時代の流れ。従来の権威的な考え方を捨て市民に寄り添う広報活動へ。

04.目指すべき議会報

まずは手に取ってもらい、見て貰うための工夫が必要。受け手である市民との課題の共有と「議会として」の取り組み。

05.市民と歩む議会へ

議会報を良く見ているのはいわゆる関係者や政治オタク。議会としての広報全般を新しい次元に昇華させる。

概要

二元代表制である地方議会ではあるが、多くの地方議会では、執行部の「承認機関」の如く自主性が発揮されているとは言い難い。

住民ニーズはより多様化しており、基礎自治体の各分野、地域、職域などの声を代表する議員の発信力の重要性は増している。

従来議員活動に加え、「議会活動」に対する市民の期待は大きくなっており市民メリットに直結する。

議会の動きや考え方を丁寧に解りやすく発信することはこれからの議会に最も求められる権能である。



広報に関する最近の取り組み



令和2年7月

蔵春閣について議会の取り組み内容



令和2年7月

蔵春閣に関する議会としての経緯報告(時系列)



令和2年11月

議会報告会をweb初開催



令和3年1月

Web議会報告会を議会報で報告



広報刷新

広報刷新への手順

広報刷新プロジェクト概要

- 見やすく手に取って貰う紙媒体（広報のカラー化）
- HPの活用による報告内容の分担
- 市民に寄り添った（興味のある）タイムリーな企画
- 市民にスポットを当てる連載企画
- Webによる広報の可能性調査

組織体制の確立

- 広報小委員会の正式な起ち上げ
- 議会運営委員会からの正式な委嘱
- 広報誌刷新の策定
- 広報広聴委員会の設置（予算化を目指す）
- 広報広聴機能の更なる強化→PDCAサイクル

広報刷新への具体策

『議会だより』の刷新

- 全ページカラー化
- 連載記事（取材）
- 特集記事の作成
- 文字数の大幅削減

『HP』強化と『SNS』発信

- 削減の文字相当はHP掲載
- 一般質問はQ&A方式
- 動画リンクによる利便性
- リアルタイムなSNS活用

ライブ配信や動画の公開

- 議会報告会のライブ配信
- 会議アプリを使用した懇談会
- 動画配信による広報

新議会報のイメージ案

カラー化～市民密着のテーマ



連載記事～市民との橋渡し



画像やデザイン～余白を重視



タイムスケジュール

令和3年3月～4月

広報のカラー化、刷新に向けスケジュール調整と「広報小委員会」の制度化、メンバーへの委嘱。連載・取材企画の調整。

令和3年7月～8月

リニューアル号の発行と問題点の検証。広報小委員会メンバーの交代。広報活動全般の見直し。

令和3年5月～6月

デザインの刷新に向けて編集作業及び連載企画の取材。特集記事の制作。次号企画の取材調整。

令和3年9月～10月

修正したリニューアル2号発行。連載企画計画に基づき取材、誌面制作継続。広報委員会の起ち上げに向けての準備検討。

想定される課題

連載企画や特集記事の企画

特集は蔵春閣で実績ありタイムリーで市民が感心の高い内容を取り上げる。連載企画は市民訪問など。

一般質問の大幅な短縮

議会報ではQ&A方式で1～2行×3～4問に集約し、ミドル版（従来文字数）をHPに掲載。動画リンクでカバー。

政務活動費による一般質問の広報

議会報で文字数が制約を受けるため、議員活動として政務活動費を活用した、広報を認める。

議決結果の表記

議会として最も重要であるが、どこまで議決態度を細かく出すべきなのか？結果のみで議員毎はHPで良いのでないか。

委員会報告のあり方と表記

委員会審議内容詳細はHPで良いのではないか？市民が興味を示す内容をトピックで広報委員会で作る。

広報活動の活発化による予算の不足

広報広聴委員会の設置による勉強会出席や資料等の費用、web配信強化による機材及びサービス使用料の確保。



新しい議会へ

議会は執行機関の下請けではなく、独立した意志決定機関ですが、議員活動や政治活動と議会活動を混同している市民も多いのが現状です。

市民のための強い新発田議会であるために広報刷新は第一歩

議会運営委員会

委員長：小柳はじめ